

Injury Alert (傷害速報)類似事例

No.4 浴槽用浮き輪による溺水、

No.18 解決したはずの浴槽用浮き輪による溺水 (2009年3月、10月の2例) の類似事例 2

事例	年齢：9か月 性別：女 体重：8.5kg 身長：70cm	
傷害の種類	溺水	
原因対象物	パンツ型の浮き輪 (浴槽用浮き輪)	
臨床診断名	溺水	
発生状況	発生場所	自宅の浴室
	周囲の人・状況	児の発達段階はハイハイができる状態であった。自宅の浴室にて、母と児が入浴していた。
	発生年月日・時刻	2014年12月11日 午後6時30分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	児は浴槽の中でパンツ型の浮き輪に座っていた。母は洗い場で髪を洗っていた。お湯の中で、児は足で浴槽の床を蹴って前かがみとなり、バランスを崩してくるりとひっくり返ってしまった。母は目撃していた。お湯の深さは、児が浮き輪に座った状態で、足が底に着くか着かないくらいの深さであった。5秒以内に児を抱き上げた。すぐに泣き、咳き込みやむせるような感じは無かったが、当院の救急センターを受診した。
治療経過と予後	来院時、バイタルサインに異常は見られず、肺野の聴診上も問題はなかった。救急外来の診療のみで帰宅した。 このパンツ型の浮き輪 (傷害速報 No.4 と同じ製品であることを写真で確認) は友人から借りていたものであった。友人から便利だとのことで借りていた。児が7か月のときから2か月間使用した。母の話によると、児の足が浴槽の底に着かないときは安全であったとのこと。浮き輪にも「足が着くところでは使用しないこと」と注意書きがあった。	